

まちの話題

タウン

トピックス

Town Topics

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

入園・入学 楽しみいっぱい!

(4月1~8日)



新学期がスタートし、各保育所や幼稚園で入園式、小・中学校、高校、大学でそれぞれ入学式が行われました。

西保育所（長嶋三枝子所長）では、3月で廃止となった南保育所に通っていた児童12人も入所し、赤ちゃん組から年長組まで122人の賑やかな声が響く入所式となりました。

当別小学校（小野崎昭夫校長）では、

父母や先生、2年生のお兄さんお姉さんの拍手の中103人がちょっぴり緊張気味で入学式会場に入場しました。

また、全国から新入生など723人が集まった北海道医療大学（廣重力理事長）の入学式入り口では、いち早く部やサークルなどに入ってもらおうと学生らが熱心に勧誘する姿も見受けられました。



レクサンドの学生がホームステイ

(4月18日)



姉妹都市であるスウェーデン王国レクサンド市から、アンナ ラーションさん・リネア ジェブソンさんの職業学校生2人が来町し、2家庭で1週間のホームステイを体験しました。

2人は、泉亭町長に表敬訪問したほか、ウエルカムパーティーで町民との交流を楽しみ、20日は西当別中学校で生徒に混じって授業受けました。

「少しでも多くの日本語を覚えて帰りたい」とホームステイ先でも熱心に勉強していました。

高橋知事と「まちかど対話」

(4月19日)



高橋はるみ北海道知事が来町し町民と懇談する「まちかど対話」が開かれました。

知事は、花卉農家のかすみ草や金沢地区にある優良田園住宅を視察した後、会場を「あえ～る」に移し、各方面で活躍する町民6人と昼食をとりながら懇談しました。知事は町の農業・商業・まちづくりなどの話題に熱心に耳を傾け「地域の特色を出しながら頑張ってください」とエールを送り、「いもだんご汁」がとてもおいしかったと喜んでいただけました。

ファイターズファンクラブ設立

(4月10日)



プロ野球北海道日本ハムファイターズを応援しようと町民に呼びかけて誕生した「当別ファイターズクラブ」の設立総会が田西会館で開かれました。

現在、会員は予想を上回る210人を数え、総会には約100人が出席しました。

今後、観戦バスツアーや少年野球教室の開催、活躍選手への特産品のプレゼントなどをする予定で、同クラブの活動が町のPRにつながることも期待できそうです。

◇個人年会費 2,000円（企業3,000円）

◇問合せ 野口さん（☎23 - 2226）

NPOでスタート「ゆうゆう24」

(4月16日)



所長 大原裕介さん

3年前に空き店舗を利用し、学生ボランティアの拠点として開所した「青少年活動センターゆうゆう24」が3月にNPO法人の認証を受け、開所式が行われました。

当日は、活動に携わる人たちが見守る中、所長の大原裕介さんが、「3年前の開所当時はわからないことが多く町の方や先生方に支えていただき、感謝しています。これからもゆうゆう24を活用していただきたい」と挨拶しました。

開所式後は、まちの駅「アウル」でセレモニーが行われ、本通振興会・商工会女性部などから、お汁粉やいも団子汁が振舞われ、たくさんの人たちで新たなスタートを祝いました。

医療大の留学生 博士号を取得

(4月5日)



北海道医療大学に中国から留学していた劉艶霞^{りゅうえんか}さんが博士号を取得し、奨学援助をしていた当別ロータリークラブ（島義慈会長）がお祝いの会を開きました。

3年前に中国青島大学医学院大学院から同校に留学した劉さんは、薬学など専門分野の勉強に励みました。

劉さんは「ロータリーの奨学生として、日本で学ぶことができ感謝している。これからは、中国と日本の掛け橋になるようなことを続けていきたい」と語っていました。

楽しく歯の健康をお勉強

(3月25日)



北海道医療大学の歯科衛生士専門学校に通う学生さんが、子供たちに歯の健康を知ってもらおうと緑町ブレイハウスで「歯の講座」を開きました。

学生さん手づくりの仕掛け紙芝居を見たり、ビンゴゲームをしたりと優しいお姉さんたちと楽しく遊びながら歯の大切さを学んだ子供たちは「これからは食べたら歯を磨くよ。甘いものは控えるよ」と約束していました。